

第4次芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会 市民委員を募集します

芦屋市では「第4次すこやか長寿プラン21」の策定を予定しています。この「すこやか長寿プラン21」は、高齢者保健福祉対策および介護保険事業を進める指針として、サービスの質の向上と地域福祉を一層推進するとともに、高齢者ができるだけ要介護状態にならず、健康でいきいきと生活できるよう支援し長寿社会にふさわしいまちづくりを推進するため3カ年ごとに策定しているものです。

市では平成18年度からの「第4次すこやか長寿プラン21」に市民の皆さんのご意見を反映させるため、「市民委員」を次のとおり募集します。

募集期間 9月6日～21日《消印有効》

公募人数 2人以内

募集資格 本市の行政に参画する熱意があり、高齢者福祉に関する創造性や建設的な意見を持つ、満年齢20歳以上(10月1日現在)の市民のかた
活動期間 10月～平成18年3月末まで(原則として平日または土・日曜日の昼間、1回2時間、合計6回程度開催予定)

申し込み 住所・氏名・電話番号・生年月日・性別を記載し、「介護保険事業計画の見直しにおいて必要なこと」に関する作文(800字以内)を添えて、郵送・ファクスまたはメールで9月21日《消印有効》までに下記へ。
書式の規定はありません。応募原稿は返却しません。

その他 応募作品により、芦屋すこやか長寿プラン21策定委員会委員(市民枠)推薦委員会で、委員を決定します。結果は本人に通知します。
規定に基づく委員報酬、交通費を支給します。

問い合わせ 高年福祉課 ☎38-2044/FAX38-2160
(〒659-8501 精道町7-6) Eメール: info@city.ashiya.hyogo.jp

市民記念植樹に参加を

総合公園を「市民の森」としてつくり育てていただくために、家族の誕生や入学・成人・結婚等の記念に植樹する「市民記念植樹」を引き続き実施します。

平成14・15年度には491本を植樹していただきましたが、今回もたくさんのご応募をお願いします。

対象 市内在住・在勤・在学のかた、市内に所在する団体
申し込み 平成17年1月末までに、参加費用を持参して、下記へ
植樹場所 総合公園
植樹時期 平成17年3月頃の予定です

植樹樹木・参加費用

区分	樹木の種類	費用負担額	募集本数
Cコース	シマサルスベリ(H=3.0)	67,000円	6本
Dコース	ヒメシャラ(H=3.0株立物)	48,000円	13本
Eコース	ヤマボウシ(H=3.0株立物)	45,000円	12本
Fコース	オオシマザクラ(H=4.0)	44,000円	2本
Gコース	ナツツバキ(H=3.0株立物)	43,000円	10本
Iコース	ハクモクレン(H=3.0)	42,000円	2本
Jコース	エゴノキ(H=3.0株立物)	34,000円	20本
Mコース	コブシ(H=3.0)	30,000円	4本
Nコース	シマトネリコ(H=3.0)	30,000円	12本
Pコース	エゴノキ(H=3.0)	27,000円	3本
Sコース	クロマツ(H=2.5)	23,000円	29本
Vコース	イロハモミジ(H=3.0)	42,000円	4本
Wコース	イチヨウ(H=3.0)	36,000円	12本
Xコース	ケヤキ(H=3.0)	26,000円	3本
H: 樹木の高さ 株立物: 数本の幹からなる樹木			132本

費用には樹木費・記念プレート作成費・植樹工事費を含みます。
記念プレートに、記念日・日付・住所・氏名を記載します。
植樹された樹木は市に帰属し、植樹後の管理は市が行います。

問い合わせ みどりの課 ☎38-2103(総合公園内)

9月9日は「救急の日」

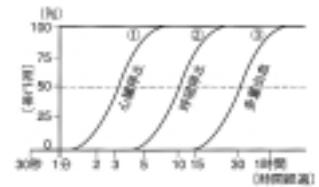
問い合わせ 消防本部警防課救急担当 ☎32-2345

9月5日～11日は「救急医療週間」

「応急手当」といいます。いつどこで、突然のけがや病気にあそわられるか予測ができません。「このように、病院に行くまでに家庭や職場でできる手当のことを「応急手当」といいます。

「救急の日」は、意識がなくなったり呼吸ができなくなったり、心臓が止まってしまうようなこともあります。

「このようなときには、救急車がくるまで何らかの処置をしないと命は助かりません。いざというときに役立つ応急手当の方法を、特に「救命手当」といいます。



①心臓停止後3分で50%死亡
②呼吸停止後10分で50%死亡
③大量出血後30分で50%死亡

カーラーの救命曲線

上図は「カーラーの救命曲線」といいます。心臓が止まってから、または呼吸が止まってから、何分ぐらい経つと命が助からないかが曲線で示されています。消防本部では、応急手当・普通救命講習会への参加を呼びかけています。職場単位やグループでの申し込みも随時受け付けていますので、お問い合わせください。

平成15年中の救急出場件数・搬送人員を報告します

平成15年中の救急出場件数は、昨年より百五十八件増加し三千三百五十七件となり、搬送人員も百十九人増加し三千七十七人となりました。一日平均の出場件数は八・九件で二・七時間、一件、市民の二十八人に一件出場でしたことになります。

「救急の日」催し物ご案内

日時 九月十一日(土)午後一時三十分～三時三十分
会場 医師会医療センター(公光町五番十三号) 定員 約百人
内容 救急救命士が行う特定行為の展示、「大切な命を救うために、市民が行う救命処置の実演」/心肺蘇生法の講習/ドクターによる救急医療相談、血圧測定 ほか

平成15年中の救急出場状況

事故種別	火災	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	1	-	365	20	17	575	34	43	1,935	201	66
出場件数	1	-	365	20	17	575	34	43	1,935	201	66
搬送人員	1	-	382	20	17	533	31	30	1,797	201	5

生産緑地地区の変更案を縦覧します

阪神間都市計画(芦屋国際文化住宅都市建設計画)生産緑地地区の変更(朝日ヶ丘1生産緑地地区の廃止)をします。

この案について、意見のある住民および利害関係者のかたは、期間満了の日までに意見を市に提出することができます。

期間 9月2日～16日(平日の執務時間内)
場所 都市計画課(市役所北館3階)
場名 阪神間都市計画(芦屋国際文化住宅都市建設計画)生産緑地地区の変更(朝日ヶ丘1生産緑地地区の廃止)



問い合わせ 都市計画課 ☎38-2073

阪神芸術祭参加・風間杜夫ひとり芝居 三部作 「カラオケマン 旅の空 一人」

2003年度文化庁芸術祭演劇部門大賞・読売演劇大賞最優秀男優賞受賞作品

日時 11月10日(水)
午後6時30分開演(5時30分開場)

会場 ルナ・ホール<全席指定>

料金 前売3,000円 当日3,500円

前売券完売の場合、当日券は発売しません。

未就学児の同伴・入場は、ご遠慮ください。

発売所 モンテメール大蔵、市役所売店、市民センター内文化振興財団事務所、チケットぴあ、ローソンチケット

問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962



内閣府が発表した平成十六年版の国民生活白書「人のつながりが変える暮らしと地域 新しい「公共」への道」には、全国各地で地域の住民が主体となって展開されている八分野・三十二事例が紹介されました。地域社会の共同利益の実現「公」を地域に住む住民たちが、生活に根ざした視点、感性、何事にもとらわれない柔軟な発想や実行力で、行政や企業と協働しながら担うことにより、地域のコミュニティがより深まり、やわらかな人間らしい社会が実現するのではないのでしょうか。

ひと ひと ひとの参画メール

問い合わせ 女性センター ☎38-2023

地域社会の「公」を協働するNPO 阪神・淡路大震災時には百三十八万人のボランティアが被災地で活動し、「ボランティア元年」という言葉が生まれました。その三年後にはNPO法特定非営利活動促進法が施行されたことも追い風となり、七月末現在全国で約一万七千五百のNPO法人が活動し、そのうち五百七十七団体が兵庫県に事務所を置き、芦屋市では二十六団体が活動しています。NPOとは、行政や企業では提供し得ない住民の切実なニーズに対して、住民自らの手法で解決に導く公益性を持った社会的な活動を行う非営利の民間組織のことをいいます。例えば、福祉、まちづくり、男女共同参画、E、防災・防犯、環境、介護、子育て支援教育、起業等々、その活動分野は多岐にわたっています。